

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2018年	8月	1日	記入者	仲谷裕巳		
調査者名	大谷	小倉	亀田	鈴木	仲谷	橋詰	

調査対象先	天満神社(威徳天満宮いとくてんまんぐう)						
所在地	吉野町吉野山2498(金峯山寺蔵王堂の南西に立地するが境内ではなく天満神社固有の敷地である。)				電話番号	0746-32-3024	
代表者 調査対応者	佐藤一彦 宮司 (吉水神社宮司兼務)						
対象文化財	彫刻	県指定:	件	国宝:	件	重文:	件
	建造物	県指定:	1件 1棟	国宝:	件 棟	重文:	件 棟

地震対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	平成10年の台風により、杉の木が倒れ本殿を直撃し大破した。県の災害復旧修理工事で、修理再築した。
	今後の予定	特になし
	要望	社殿裏側が崖地になっており、崩れないか心配である。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

防火対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input checked="" type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	本殿内部と社務所には火災警報器が設置されており、蔵王堂寺務所と社務所そして役員宅に通報される。又、本殿すぐ横には消火栓及び消火ホース格納箱がある。
	今後の予定	特になし
	要望	特になし
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先

天満神社(威徳天満宮いとくてんまんぐう)

獣害・白アリ等の対策

① 獣害等被害	<input type="radio"/> A: 経験あり	<input checked="" type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	
③ 今後	今後の予定、要望	猿やいたち、ムササビがいるが、特に被害はない。スズメバチの巣は小さいうちに処理している。

県指定の本殿正面。



三間社流造の本殿・(桧皮葺・彩色)



本殿裏側の崖地。木柵による土留。



社務所の火災警報器



本殿横の消火ホース格納箱



【調査票記入者(仲谷裕巳)の感想】

県の災害復旧修理工事で修理再築された本殿は問題ないと思われるが、すぐ裏側が崖地になっており、木柵による土留だけであり注意が必要である。